

## 技工部だより

歯科技工部門 長谷川 健 二

歯科技工部門の長谷川健二と申します。僭越ながら歯科技工部門の紹介をさせていただきます。

さて、当部門ですが令和4年12月現在、5名の職員が在籍しており、外来診療棟5階中央技工室にて、クラウンからデンチャー、様々な口腔内装置など、幅広く製作しております。そして一昨年CAD/CAM機器の新規導入に伴い、補綴物の製作や、機能を利用することで日々の業務に役立てております。

それではCAD/CAM機器について少し説明を加えますと、このたび導入された機器はAmann Girrbach社のceramillというシステム一式でCAD用PC、モデルスキャナー (ceramill map600)、切削加工機 (ceramill motion2)、シタリングファーンエスが含まれ、保険のCAD/CAM冠、ジルコニア、PMMAやワックスの切削加工が可能となりました。また、スキャンデータ

やデザインデータをSTLデータとして取り出せるため、3Dプリンタを併用して立体造形ができ、利便性が増しています。

当部門の3Dプリンタですが、以前、本誌の技工部だよりに紹介されている3Dプリンタ (Form2) の後継機のForm3Bを導入しております。Form2同様、光造形方式のプリンタで主に実物大臓器モデルの製作に使用しております。

病院勤務の技工士として多様化する業務を遂行するうえで、CAD/CAM機器の補助は欠かせないものとなっており、職人として腕を磨く傍ら、これらを使いこなすための知恵や技術を身につけなければいけないと強く考えております。

簡単ではありましたが、歯科技工部門の紹介とさせていただきます。今後ともよろしく願い申し上げます。



左からceramill map600, ceramill motion2, Form3B

## 受章にあたって

元診療支援部副部長・歯科技工士長 木村 修平

この度、令和4年春の叙勲におきまして、瑞宝単光章を受章いたしました。

この様な名誉ある褒章をいただけるとは夢にも思っておりませんでしたので、とても感激しております。

私が受章できたのは長年の歯科技工士としての業務が認められたのだとおもいますが、それは歯科技工部門をはじめ、歯科の先生方や歯科衛生部門の皆さん、その他多くの方々に支えられての事であり、心から感謝申し上げます。

昭和54年に新潟大学歯学部附属歯科技工士学校を卒業し、そのまま新潟大学歯学部附属病院に就職しました。私が大学病院技工室を希望した理由は義歯、Cr.-Br.を含め、各種の技工を行いたいと思ったためです。当時、技工所に就職すると、



瑞宝単光章



病院長より春の叙勲伝達式の様子  
(医歯学総合病院HPより)

まず義歯部門とCr.-Br.部門に分かれ、それぞれが専門的に担当する形態が取られていました。新潟大学歯学部附属病院技工室では多種の技工を行っており、ある程度の時間に余裕をもって業務する事が出来たので、研究やトレーニングも可能でした。また各学会や講習会等に参加し、学術習得の場も多かったと思います。今、勤務した40年を振り返ると様々な思い出が浮かんで来ますが、あっという間に過ぎた様にも思います。困難な事も多々ありましたが、皆さんの御助力で乗り越えられたと感謝しております。

最後に新潟大学歯学部並びに病院職員の皆様のご健勝、ご発展を心よりお祈り申し上げます。